

2010 年度報告書 (COE 教員)

氏 名	青山 薫
職 位	GCOE 特定助教
研究概要	<p>特定研究テーマである「女性の移住性労働」および「人身取引」について、以下の公的資金によるプロジェクトによる研究を継続した。▶文部科学省科学研究助成（挑戦的萌芽研究）「グローバル性取引：『人種差別』の影響と当事者の視座をもつ対策」（代表研究者）▶厚生労働省科学研究助成（エイズ対策研究事業）「個別施策層の HIV 感染予防対策とその介入効果の評価に関する研究」（分担研究者・移住性労働者担当）▶文部科学省科学研究助成（基盤研究 A）「現代アジアの家族変容と福祉レジームに関する国際共同研究」（分担研究者・移住とジェンダー／セクシュアリティ担当）▶文部科学省科学研究助成（基盤研究 A）「アジア太平洋地域の人身取引問題と日本の国際貢献」（研究協力者・タイ担当）</p> <p>また、トヨタ財団研究助成金を受けた結婚移民研究会（代表：藤女子大学金戸幸子講師）のメンバーとしても研究を行った。このほか、より広範な研究テーマである「ジェンダーとセクシュアリティの関係」および「親密権と性的自由」について、上記実証研究に基づいた理論的展開の模索を続けた。</p>
教育概要	<p>2010 年 4 月から 9 月には以下の教務を行った。▶京都大学文学研究科社会学教室の学部制対象オムニバス講義 2 回（ジェンダー／セクシュアリティ、移住、性労働、人身取引、グローバル化）▶東京外国語大学外国語学部 Cutting Edge of Feminism（英語集中講義・非常勤講師）▶立命館大学政策科学部「政策科学英語演習」（非常勤講師）</p> <p>また、7 月に開催された ISA 大会、9 月に開催された当 GCOE 台湾大学派遣交流、12 月に開催された当 GCOE 次世代ワークショップの発表準備をすすめる大学院生・学部生に、英語パワーポイントプレゼンテーションの方法を指導した。</p> <p>2010 年 10 月 1 日に神戸大学国際文化学研究所に准教授として着任。2011 年 3 月までに専任として「ジェンダー社会論」、「先端社会論演習」、「ジェンダー社会論特別講義」、「ジェンダー社会論特別演習」、「英語購読 II」の講義・演習を行った。</p>
業績リスト （著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）	<p><u>共著章</u>：Aoyama, Kaoru, “Migrants and the Sex Industry”, in Kumiko Fujimura-Fanselow (ed), <i>Transforming Japan: How Feminism and Diversity are Making a Difference</i>, The Feminist Press at the City University of New York, Chapter 20, 2011 (in print) ; 青山薫「『性』をめぐる自由について—親密『権』を用いた検討」『自由への問い 生存・生き方・生命』所収(岩波書店)140-166, 2010 ; 青山薫「セックスワーカーの人権・自由・安全」『ジェンダー社会科学の可能性』所収(岩波書店)第一巻 II - 2, 2011 (入稿済)</p> <p><u>口頭発表</u>：Higashi, Yuko; Kaname, Yukiko; Yagi, Kasumi; Nosaka, Sachiko; and Aoyama, Kaoru, “Sexual Health Risks Faced by Female Sex Workers in Japan”, <i>XVIII International AIDS Conference</i>, The Messe Wien, Vienna, Austria, 20 July 2010</p>